

1. 学習活動

(1) 学習活動とは

学習活動は、子どもから大人まで生涯に行うあらゆる学習、趣味や生きがい、キャリアアップなどのために、自由に機会を選択して行う学習のことと定義づけます。学びの中で得た自分の知識を人のためや地域づくりに活かしていくことや、区の実施する様々な啓発活動事業等に参加することも学習活動であると言えます。教育基本法第3条では、一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現をねらいとしています。

(2) 現状と課題

①誰もが参加しやすい学習機会の提供

実態調査によると、区民が直近一年間のうちに何らかの学習活動をしたことのある割合は67.2%です。多くの区民は学習活動への関心が高く、子育て中、高齢者など誰もが生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりが求められています。また、年齢や国籍、障害の有無に関わらず誰もが思い立ったときに学びを実践できる機会の充実と学習活動の場の提供が大切です。

図書館は、地域資料の収集や学習に必要な情報の収集・提供等と併せて、区民に身近な地域の学習の場となる必要があります。また、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」の施行により、障害の有無に関わらず全ての人が等しく読書に親しむための環境整備が求められています。

※必要に応じて図表を挿入します。以下、同様です。

②オンラインを活用した学習機会の提供と支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来の対面型の活動等が難しい状況です。そのため、非来館・非接触型の各種サービスやインターネットオンラインを通じた多様な学習機会の提供など、Society5.0を見据えて新しい技術を活かした学びの提供が求められています。

非来館・非接触型のサービスとして電子書籍やオーディオブック等、ICTを活用した図書館サービスの充実や、オンラインと対面の相乗効果を生むような「ハイブリッド型」の講座の開催などを進めていくことが必要です。

SNSを活用した情報発信や、ICT社会に対応するため指導者と受講者双方の育成、高齢者などの情報弱者、経済的な状況による学習機会の格差に配慮したデジタルデバイド対策が必要です。

③学びの成果を生かし活動へとつなげる人づくり

実態調査をみると、読書を通じて学んだ区民は52.8%、インターネットを通じて学んだ区民は47.8%となっており、個人学習に特化している傾向がみられ、地域の学習活動を支える中心的役割を担う人材が不足しています。学びあいをきっかけとした交流の推進と成果を生かす場をつくり、学びの成果を地域社会へ還元する人づくりが必要です。

生涯学習司、地域文化インタープリター、アカデミアサポーターなど学習活動を支える中心的役割を担う人材が不足しており、次の世代の育成が求められます。

④学習活動環境の充実に向けたネットワークの構築

実態調査をみると、「区民が学習活動で得た内容を地域や人のために生かすため区がより力を入れるべき取組」として、「地域活動・ボランティアの情報提供」「地域活動も組み込まれた講座」が挙げられています。地域のつながりが希薄と言われる中、地域における学習活動環境の充実が大切です。また、町会や関係機関、家庭などさまざまなネットワークと学習活動を通じて、つながりづくり、地域づくりに活かす意義や必要性を伝え、理解してもらうことが重要です。

また、学習活動の地域還元に関する事例の具体的な提示や、「文京区」の歴史・特色を学び、地域ぐるみでの活動や伝統を伝えていくきっかけや仕組みづくりが必要です。

現状と課題のまとめ

- ①誰もが参加しやすい学習機会の提供
- ②オンラインを活用した学習機会の提供と支援
- ③学びの成果を生かし活動へとつなげる人づくり
- ④学習活動環境の充実に向けたネットワークの構築

(3) 施策体系の考え方

現状と課題を踏まえると、誰もが自分の好きな時に学習活動を実践できるよう、多様なニーズに柔軟に対応しながら取組を充実させることが重要です。

地域で学習活動を推進するにあたっては、区民一人ひとりの主体性を重んじるとともに、学習する側と知識や技術を伝える側双方の育成をすることで、人づくり、つながりづくり、地域づくりが促進され、活動の活性化が期待できます。

また、学習活動は、持続可能な社会をつくっていくために、必要な知識や技術を身につけるものとして重要な役割を担っています。学習が生涯にわたって、豊かな人生を送るための助けや様々な課題を解決する力となり、個人から団体、地域での活動と交流をつなげていくことができるよう推進します。

基本方針	施策
①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実
	イ だれもが学びを実践できる支援の充実
	ウ 身近な学習環境の充実
	エ 地域の学習拠点としての図書館づくり
②学び続けるための活動の支援	ア 区民の主体的な学習活動の支援
	イ 活動の成果を発揮できる場の充実
	ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進
③学びの循環による地域づくり	ア 地域の学びを促進する人材育成の推進
	イ 人材活用の仕組みの構築
	ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

(4) 基本方針と施策の方向性

① いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり

本区では、これまで教育機関や企業等と連携しながら、多様な学習活動の機会の提供と環境づくりに取り組んできました。

日常の中の興味や関心、生活や地域の中で生まれた課題など、学びのきっかけは様々です。様々な分野の講座や学びの場を展開することで区民のニーズに対応するとともに、学びの機会を発信していくことで、区民の好奇心を引き出し、学びに向かう機運を高めていきます。

そのためには、区内の多様な学習資源を活用することにより、身近で楽しめるものから、専門的に学ぶことができるものまで幅広く質の高い学習機会を提供します。

また、年齢や性別、障害の有無や国籍の違い等に関わらず、若年層や働き世代、子育て世代なども含め、個人の様々な状況に応じた学習を実践することができるようにすることが重要です。地域の学習拠点としての図書館の充実や、ICTを活用したオンライン講座など、新たな学習スタイルの充実を図りながら、いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくりを推進します。

ア 多様なニーズに応じた学習機会の充実

区民の多様なニーズに対応した幅広い分野の講座等の提供に取り組めます。

また、気軽に参加できる初心者向けのものをはじめ、大学・企業等と連携した専門性の高いものまで、区民の学習状況に合わせた多様なプログラムを展開します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供する。
文京いきいきアカデミア講座	高齢者を対象とした2年制講座で、1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進む。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定する。
企業等連携講座 (メセナ講演会)	企業等の社会貢献活動を活かし、区民の学習機会を充実させるため、多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して講座(講演会)を開催する。

イ だれもが学びを実践できる支援の充実

区民一人ひとりの状況に応じて学習に取り組むことができるよう、区報・ホームページ・SNS等による学習機会の情報発信や様々な学習支援・相談の充実を図ります。

また、働く世代などに配慮した夜間や休日を利用した学習機会の提供、デジタルデバイス対策としての講座の実施など、学習を始める際の課題に対応できるよう取組を推進します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取り組めるよう、総合的に紹介等を行う。
サークル活動の広報	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、アカデミー文京・地域アカデミー等において、各団体の活動内容等を記載した社会教育関係団体名簿の閲覧ができる。

ウ 身近な学習環境の充実

インターネットによる施設予約の利便性の向上をはじめ、図書館での電子書籍・オーディオブック等の資料の充実のほか、オンラインを活用した講座など、ICTを活用して学習の場の充実を図ります。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文京 e-ラーニング	時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信する。
「文の京」施設予約ねつとシステム	施設予約ねつとシステムの活用により、施設利用者のさらなる利便性向上を図る。
視聴覚資料等の貸出	地域での学習活動を支援するため、視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出す。

エ 地域の学習拠点としての図書館づくり

だれでも利用できる地域の学習拠点として、図書館サービスの充実に取り組みます。

文京区立図書館は、真砂中央図書館をはじめとする8図書館と2図書室及び1取次拠点があり、区内ほとんどの地域から半径1km圏内に図書館の窓口が配置されて

います。区民にとっての身近な知識や情報、学習のよりどころであり、新しい発見や学習のきっかけが生まれることも多くあります。区民の様々な学習を支えるため、多様なニーズに対応した資料提供と情報発信の充実を図ります。また、点字図書、拡大図書などバリアフリーに配慮したアクセシブルな資料の充実も進めていきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
地域資料の充実	区史や古地図のような貴重な資料を用いた地域に関する調査・研究に資するため、文京区及び東京都の行政資料、郷土資料の収集・保存・提供を行う。
図書館サービスの充実	図書館の機能向上により、利用促進を図るため、資料や情報を提供するとともに、利用者サービスを向上させ、区民の読書活動の推進を図る。

② 学び続けるための活動の支援

生涯にわたって学習活動を行うためには、個人の学びの動機や意欲はもちろんのこと、ともに学ぶことのできる仲間づくりや活動の成果を披露する場が重要です。

学びを通じて交流をすることは、学びが学びを引き寄せ、それぞれ個人の持つ知識や技術、視点が新しい刺激となって、より充実した活動になることが期待されます。

また、学習や経験で得られた学びを発表したり、披露したりすることは、学びによる効果的な気づきの場でもあります。自らの学習を見つめ直し、やりがいと達成感を得ながら継続的に学習活動に取り組むことを支援します。

ア 区民の主体的な学習活動の支援

学習活動を通じて区民どうしが交流し、継続的な活動を行うため、サークルや団体を含めた区民の主体的な活動を支援します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
資格取得キャリアアップ講座	区内大学で開講する資格取得に関する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、資格取得やキャリアアップを支援する。
社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行うことで、その活動を支援する。
文京区生涯学習サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行う。

イ 活動の成果を発揮できる場の充実

個人や団体の様々な活動の発表の機会を設けることで学習意欲の向上を図り、また、これから活動を行う人にとってのきっかけを作るため、学習の成果を披露できる場の充実に図ります。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
生涯学習フェア	文京アカデミア講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施する。 区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行う。

ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

オンライン上での交流も含めた交流型の学習機会を充実し、ともに学習活動に取り組む仲間づくりを推進します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
ふれあいサロン	あらゆる世代が気軽に地域活動できる交流の場を提供するとともに、地域活動を担う人材発掘・育成を支援するため、地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催する。

③ 学びの循環による地域づくり

知識や技術を他者に伝えていくことで、学びが人と人をつなぎ、新たな知を生み出すことができます。

学習活動に関する知識やスキルを習得した区民が、担い手となって学習活動を行うことにより、その知識やスキルはもちろん、学習方法や楽しみ方まで幅広く共有することができます。

学びが地域の中でつながっていく仕組みを構築することにより、文京区らしい特色を持った学習活動と環境を創出します。

ア 地域の学びを促進する人材育成の推進

学習機会の担い手となる人材を育成するため、「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」の資格制度や活動の周知を図るとともに、資格取得者の交流を促進し、区民同士の連携を深める場づくりを推進します。また、次の世代の担い手の育成や活動の継続につなげる取組を行います。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
人材育成のための講座	生涯学習に関し、区や公益財団等と協働する人材を育成するため、「文の京生涯学習司(隔年)」、「文の京地域文化インタープリター(隔年)」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施する。
学習支援者スキルアップ講座	「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供する。

イ 人材活用の仕組みの構築

学習活動に関する知識やスキルを持つ区民に、学習機会の担い手となってもらうための取組を推進します。

これまでも学習活動の促進に貢献してきた「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの人材が活躍できる場や機会の充実を図ります。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
区民プロデュース講座	区民の学習の成果や NPO 等のノウハウを活かし、地域に根ざした生涯学習を推進するため、

	個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して、実施する。
各種講座・展示会の企画への起用	インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業（企画展等）を展開する。

ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

地域の文化や資源を活用した学習機会を提供するため、「文京区らしさ」を活かした取組を推進します。また、その学びの成果を地域に還元する取組を推進します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
文京お届け講座	地域の各種団体の要望に応じ、行政情報を提供することで、区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区職員が講師になることにより、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図る。
「文京学」講座	文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供するため、文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施する。
大学プロデュース特別公開講座（学長講演会）	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活かし、区民に学習機会を提供するため、大学プロデュース特別公開講座（大学学長の講演会）を実施する。
大学連携による各種事業	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活かし、区民に学習機会を提供するため、区内大学と連携した事業を展開する。
大学連携による附属図書館の区民開放	大学の附属図書館を区民に開放していただくことで、区民の学習活動を支援する。